

京都市生物多様性プランに基づくリーディング事業の取組状況等について

平成26年3月に策定した「京都市生物多様性プラン～生きもの・文化豊かな京都を未来へ～」(以下「プラン」という。)に基づき実施してきた取組の進捗状況について、平成27年度以降に実施したリーディング事業を中心に報告する。

1 生きものの生息環境の保全

(1) 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

京都の祭りや文化を支えてきた生きものの保全・再生のため、活動していただく団体の取組を認定し、必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣する「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」を創設し、推進している。創設以降、11件のプロジェクトを認定している(平成28年5月末現在)。

認定 番号	プロジェクト推進者	取組内容	認定年度
1	京都水族館	チマキザサ及びフタバアオイを取り入れた展示	平成26年度
2	日新電機株式会社	生物多様性に配慮した緑地の新設・整備	平成26年度
3	特定非営利活動法人 K E S 環境機構	フタバアオイ及びフジバカマの保全(96事業所)	平成26年度
4	株式会社京都放送	自社敷地内で育てた原種のフジバカマの展示等	平成26年度
5	株式会社洛西ガーデン	自社敷地内の農園でのフタバアオイの保全	平成26年度
6	特定非営利活動法人 伏見クラブ	集合住宅内の緑地でのフタバアオイ等の保全	平成26年度
7	株式会社松栄堂	希少植物の育成・保護及び当該植物の店頭公開	平成26年度
8	松尾学区自治連合会	自治連合会管理の公園でのフタバアオイの保全	平成27年度
9	三菱自動車工業株式会社 パワートレイン製作所	自社敷地内でのフタバアオイ等の保全	平成27年度
10	特定非営利活動法人 K E S 環境機構	ヒオウギ及びキクタニギクの保全(35事業所)	平成27年度
11	桃山地域女性会	女性会員によるフタバアオイの育成	平成27年度

2 理解し行動する市民の支援～人づくり～

(1) 京の生きものホットスポット調査

市内の生物多様性保全上重要な場所（ホットスポット）において、活動団体等と連携し、生きものの生息状況のモニタリング調査を行っている。この調査に加え、市内の大学（京都精華大学、京都学園大学）と連携し、大学キャンパス内の緑地などに生息する生きものの調査を大学生の協力を得て実施している。

(2) 親子生きもの探偵団

京都市の生物多様性の保全に向けた行動の必要性を理解していただくための環境教育・普及啓発の一環として、親子を対象にした自然観察会「親子いきもの探偵団」を開催している。これまでに10回開催し、延べ381名が参加している。

平成28年度は、5月に開催した平安神宮を含め、計6回の開催を予定している。

ア 平成26年度開催実績 計3回開催、106名参加

イ 平成27年度開催実績

	場所	参加者数
第1回	京都水族館	47名
第2回	京都御苑	39名
第3回	洛西ニュータウン（小畑川，洛西竹林公園）	37名
第4回	京都市動物園	38名
第5回	桂川河川敷	40名
第6回	梅小路公園いのちの森	31名

ウ 平成28年度開催実績（予定も含む）

	場所	参加者数
第1回	平安神宮	43名
第2回	渉成園（7月28日開催予定）	—
第3回	梅小路公園いのちの森（8月4日開催予定）	—
第4回	京都府立植物園（8月18日開催予定）	—
第5,6回	未定	—



平成27年度 第6回「梅小路公園いのちの森」



平成28年度 第1回「平安神宮」

(3) 地域生きもの探偵団

生物多様性の大切さや豊かな地域の魅力を学ぶことを目的として、市内の小学校・児童館が授業等で実施する生きものの観察に、本市が専門家を派遣し、児童が多様な生きものたちのつながり等について学ぶことができる「地域生きもの探偵団」を実施している。これまでに6回開催し、延べ278名の児童が参加している。

平成28年度は、実施校を公募により選考し、計5回の開催を予定している。

ア 平成27年度開催実績

	場所	参加児童数
第1回（上賀茂小学校編）	上賀茂神社 ならの小川	82名
第2回※（下京渉成小学校編）	東本願寺 渉成園	36名※
第3回（境谷小学校編）	大蛇ヶ池公園	42名
第4回（境谷小学校編）	小畑川	37名
第5回（池田小学校編）	山科川	45名

※第2回の下京渉成小学校は計2回開催しており、各回に36名参加している。

(4) フィールドビンゴ in 京都市立動物園

平成28年度の新規事業として、親子を対象にしたイベント「フィールドビンゴ in 京都市動物園」を、国際生物多様性の日（5月22日）に合わせて開催した。本件は、京都市動物園との連携事業であり、京都市動物園の京都の森等において、ビンゴシートに記載された内容に当てはまる生きものを探しだし、ビンゴを完成させる自然体験型イベントである。当日は30名が参加した。



ザリガニ釣りの様子



虫めがねで観察している様子

(5) 生きものみつけラリー

平成28年度の新規事業として、親子を対象にしたイベント「生きものみつけラリー」を開催した。本件は、京都水族館との連携事業であり、京都水族館及び梅小路公園いのちの森を会場に、参加者自らが生きものを探し、発見してクイズに答えながらラリーを実施する体験型イベントである。2日間で3回開催し、計91名が参加した。



クイズに答える参加者



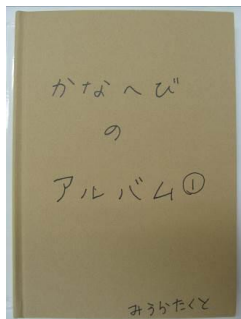
講師からの解説

(6) まちかど生きもの観察記

平成27年度は、子供たちが本市の豊かな自然に触れ、生きもののつながりの大切さなどについて理解を深められるよう、身近なまちかどで発見した生きものの情報を作品にした「まちかど生きもの観察記」を新たに募集し、個人の部は92点、団体の部は29点の作品の応募をいただいた。その中から、特に優れた作品19点を表彰し、ゼスト御池で入賞作品の展示を行った。

この「まちかど生きもの観察記」は、従前の「まちかどいきものマップ」を発展させ、募集作品の種類を拡充し応募者がより自由な作品作りに取り組めるようにしたものである。

平成28年度も引き続き募集し、表彰・展示する予定である（募集期間：平成28年7月1日～11月30日）。



最優秀作品
(個人の部)



最優秀作品
(団体の部)



入賞作品展示の様子

(7) 京都生きもの100選

生物多様性に触れる機会が増え、さらには保全活動への参加につながるよう、市内の身近な自然に関する情報を、①生きものやその生息・生育場所、②生息環境保全の取組、③観光や伝統文化を支える生物多様性の情報の3つの区分に分けて「京都生きもの100選」として取りまとめ、生物多様性専用ホームページ「京・生きものミュージアム」等で紹介している。



深 泥 池



カヤネズミの保護活動(桂川)



京 都 御 苑

(8) 普及啓発活動

ア 啓発イベントの開催

市民や事業者等との共汗により、生物多様性保全活動の輪が広がることを目的に、京都市生物多様性セミナーを開催した。平成28年度も開催予定である。



平成28年1月15日開催(キャンパスプラザ京都, 113名参加)

イ 市内図書館における生物多様性コーナーの設置

市民の皆様には生物多様性について理解を深めていただくため、環境月間である6月に、市内の各図書館において、生物多様性の関連蔵書を集めた特設コーナーを設置している。



中央図書館



右京中央図書館

ウ 「楽祭 i n らくさい」でのブース出展

毎年秋に洛西ニュータウンで開催される「楽祭 i n らくさい」に本市も参画し、生物多様性に関するパネル展示や動画の再生を通じて、生物多様性保全について普及啓発を行っている。

(9) 普及啓発冊子の発行

平成27年度は以下のア～エの4種類を発行した。イ～エについては、引き続き平成28年度版を発行する予定である。

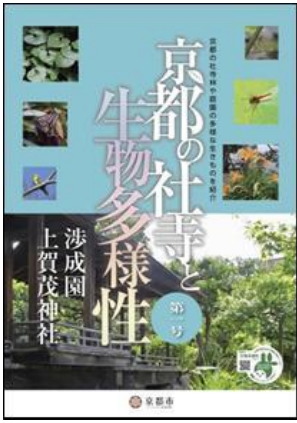
ア まんが読本「考えてみよう！私たちと生き物とのかかわり」（A5版）

（平成27年5月発行）

イ 「京（みやこ）の生きもの発見ガイド」（A5版）（平成27年7月発行）

ウ 「京都の社寺と生物多様性 第一号」（A4版）（平成27年12月発行）

エ 「未来へつなごう！京都の生物多様性」（A5版）（平成28年3月発行）

	児童自らが、生きもののつながりの大切さや、京都らしさを支える豊かな自然などについて考えることが出来る内容となっている。		街中で見られる生きものが持つ興味深い特徴など、市内で見られる多種多様な生きものの生態を紹介しています
	京都ならではの自然環境を形づくる重要な要素である、社寺林や庭園の多様な生きものを紹介しています。		プランに掲げるリーディング事業を中心に、本市がこれまで推進してきた取組等を紹介しています。

3 活動を促す仕組みとネットワークの構築～ネットワークづくり～

(1) 京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～（平成26年10月開設）

生物多様性に関する様々な情報を収集・発信するとともに、市民、活動団体、事業者など多様な参加者を結び付ける役割を担う生物多様性専用ホームページ「京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～」を開設し、活用している。開設以降、20,490回（月平均1,078回）の閲覧があり、2,911件の生きもの発見報告が寄せられている（平成28年5月末現在）。

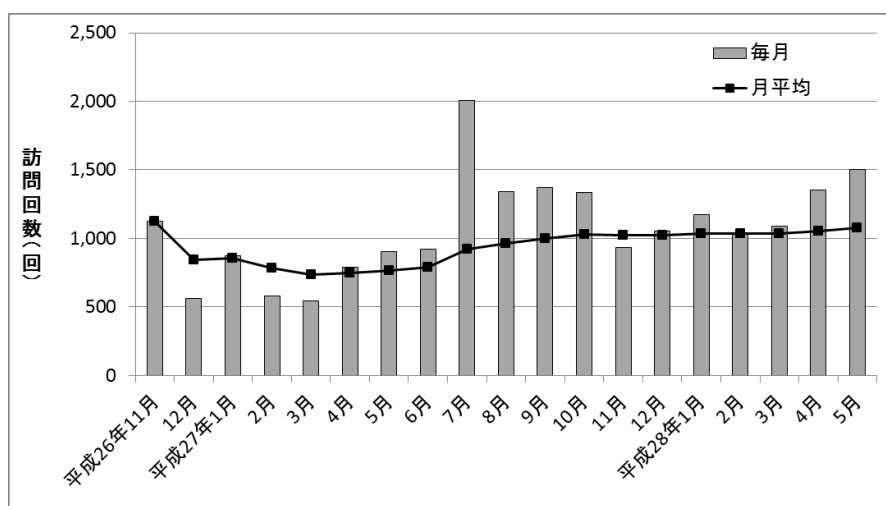


図 「京・生きものミュージアム」訪問回数(毎月及び月平均)

(2) 京都市生物多様性保全活動登録制度

生物多様性保全活動に参加を希望する市民の皆様と、市民の皆様の協力を希望する保全活動団体を結び付ける、「京都市生物多様性保全活動登録制度」を創設し、運用している。登録の受付や制度の運用は、「京・生きものミュージアム」において行っている。

これまでの登録数は、44名の個人と16団体にとどまっており（平成28年6月末現在）、登録の促進及び本制度の活性化について検討していく必要がある。

別紙1 平成28年度生物多様性関連事業一覧